

【R4】「街」の循環再生を育む、除却と流動化支援事業（クラッソーネ）

発表資料

自治体と協定締結を行い、空き家所有者向けに空き家除却を早期化するための「すまいの終活ナビ」を開発。
R4年度のアクセス数約23,000件（1月末時点）、締結自治体数 累積55件（2023/2/16時点）となる

■ 事業概要

事業部門	部門2 住宅市場を活用した空き家に係る課題の解決を行う事業
事業地域	全国
背景・課題	空き家の除却で「いくら必要か？何から始めるか？どうすすめるか？」がわからず、具体的に検討が進まなく空き家処分の検討が先送りされている。
目的	情報の非対称性が大きいライフイベントの空き家処分。 自主解体の意思決定早期化を狙い、解体費用と跡地の売却相場を確認できる仕組み「すまいの終活ナビ」を開発。各自治体と協定締結を行い、自治体の情報発信力で空き家所有者が利用できる状態にした。
連携する団体・役割	締結先自治体

